

事業名：ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業

論点1 事業目的を踏まえ、適切な成果目標の設定について検討すべき。

- ☐ 目標最終年度(令和15年)の手前で実用化見込の割合等の中間目標を設定ができないか検討すべき。
- ☐ 長期アウトカムを「実用化率50%」としているが、「実用化」といっても様々なので、経済効果に関する評価指標も加えられないか検討すべき。

論点2 民間企業との適切な役割分担の在り方を検討すべき。

- ☐ 事業の進捗を踏まえ、委託から補助への変更や事業の終期の設定などを検討し、民間企業自身にも相応の関与を求めていくべき。

論点3 事業目的の実現に向けて、本事業の執行が適切に行われているか、評価・確認していくべき。

- ☐ 成果目標を適切に設定した上で、本事業の効果検証を行い、その結果を踏まえて今後必要な基金の額を適切に見積もるべき。
- ☐ 支援先の採択が競争的な方法により適切に行われるよう、引き続き審査体制の充実を図るべき。